

しおがま市議会だより

令和4年 12月定例会号

- 議案審議の概要 など P2
- 常任委員長報告 P3
- 討論 P4
- 市政に対する一般質問 P5~9
- 議案等賛否一覧表 など P10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Feb.2023 (令和5年2月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧になれます。



令和5年 塩竈魚市場の初セリ

定例会のあらまし

令和4年12月定例会は、12月9日から12月21日までの13日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、まず、継続審査となっていた議案1件について、総務教育常任委員会委員長より審査結果の報告を受け、修正可決しました。

その後、請願2件を所管の常任委員会に付託したのち、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑を行い、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託された請願及び議案の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をたどしました。

最終日には、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、請願2件を継続審査とし、議案12件を可決しました。

また、議員提出議案1件が上程され、即日審議の上、可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

- | | |
|-----|--|
| 本会議 | 12月9日 会期の決定、総務教育常任委員会委員長継続審査報告、議案審議及び採決、諸般の報告、請願付託、議案説明、総括質疑及び議案付託 |
| 委員会 | 12月13日 総務教育常任委員会
12月14日 民生常任委員会
12月15日 産業建設常任委員会 |
| 本会議 | 12月16日 市政に対する一般質問
12月19日 市政に対する一般質問 |
| 委員会 | 12月20日 議会運営委員会 |
| 本会議 | 12月21日 各常任委員会委員長報告、議案審議、討論及び採決、民生常任委員会・総務教育常任委員会委員長請願審査報告、請願審議及び採決、議員提出議案審議、討論及び採決 |

補正予算8億9409万4千円可決

12月定例会における一般・特別・企業会計の補正予算は8億9409万4千円で、補正後の予算総額は512億4613万1千円となりました。

主な事業は次の通りです。

一般会計

〔補正額〕

8億5033万5千円

1 新型コロナウイルス感染症対策・原油価格物価高騰への支援事業

〔補正額〕

1億6475万1千円

○しおがま生活応援券事業

(補正額 1億4039万円)

原油価格・物価高騰に対する支援として令和4年12月1日時点で本市に住民登録されている世帯に5千円分の金券を配布

○塩竈市保育所等物価高騰

対策補助事業

(補正額 861万6千円)

物価高騰の影響で運営に負担が生じている私立保育所などに施設の定員数1人当たり1万2千円の補助金を交付
○小学校学校給食食材購入支

援事業

(補正額 247万5千円)

○中学校学校給食食材購入

支援事業

(補正額 151万7千円)

食料品の物価高騰に対応し、学校給食費を据え置くための補助金を追加交付

○創業・事業承継スタート

アップ支援事業

(補正額 500万円)

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに塩竈市内で創業・事業承継を行う事業者に、内装工事費や機械設備費

など創業・事業承継に必要とみなされる経費の一部について補助
2 公共施設等における燃費等高騰対応事業

〔補正額〕

8672万9千円

物価高騰に伴う公共施設の光熱水費増額分を計上

3 令和4年7月豪雨災害

関連事業

〔補正額 700万円〕

○伊保石公園災害復旧事業

(補正額 700万円)

大雨により被害が発生した、伊保石公園内の園路などの復旧工事を実施

4 通常事業

〔補正額〕

5億7633万1千円

○ふるさと納税のための経費

(補正額 1億6704万円)

ふるさと納税が大幅に増加する見込みのため、御礼品などの経費を増額

○生活保護扶助費

(補正額 2億7900万円)

生活保護の受給者の増加や高齢化により、医療費給付額や介護サービス利用者などが増加したことに伴う予算の増額

○国庫補助金等返還費

(補正額 2905万2千円)

業の完了に向けて、既に交付を受けた復興交付金を精算
○小学校施設維持管理費
(補正額 2745万9千円)
○中学校施設維持管理費
(補正額 1186万4千円)
令和5年度の学級数増などを見据え、未整備教室へのエアコン設置やWiFiアクセスポイントの増設などを実施
○中学校防災機能強化事業
(補正額 3502万1千円)
玉川中学校バスケットゴール落下防止対策や浦戸小中学校トイレの大規模改修を実施 など
特別会計
〔補正額〕
1911万6千円

企業会計

〔補正額〕
2464万3千円

①水道事業
(補正額 2464万3千円)

水道窓口部門などを、4月をめどに市役所本庁舎向いへ移転するための費用を計上

条例

塩竈市個人情報保護の保護に関する法律施行条例 他4件

請願

審議結果は次のとおりです。
○継続審査としたもの

◆来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金額に引上げを求める請願

◆消費税のインボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施延期を求める意見書提出についての請願



水道窓口移転予定地

常任委員長

報告

12月定例会において、議案12件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 鎌田 礼二

◎議案第52号は修正可決、第62号、第65号、第67号、第73号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」
要望意見

○本条例案は、国の復興特区制度で事業者の固定資産税を免除する手続きを誤ったことを受け、市長の給与を特例的に減額しようとするものであるが、税を所管する民生常任委員会に対しては手続き誤りについて報告があったが、本条例を所管する総務教育常任

委員会に対しては報告することなく9月定例会に提案された。今後は、このようなことがないよう全員協議会で報告するなど、議会への説明を十分に行われたい。

「一般会計補正予算要望意見」

○しおがま生活応援券事業は、市民の利便性向上の観点から、金券の取扱店舗の拡大に努められたい。

○ふるさと納税事業は、今後もふるさと納税を取り扱うホームページへの掲載を増やし、更なる本市への寄付拡大に努められたい。

○重点課題対策検討事業は、庁舎、市立病院のハード整備について、候補地選定検討のため適地調査を行うものだが、検討対象とする庁舎の範囲を本庁舎のみとするのか、現在分散している分庁舎なども含めるのか、調査範囲を十分に検討されたい。

○学校施設環境改善事業は、玉川中学校体育館の安全対策や、浦戸小中学校のトイレの改修、一部小中学校での空調機器などの設置や改修を行うものだが、本事業を含め契約事務は公明正大に行われたい。
○空調機器の設置時期は、児童生徒の体調に配慮し、暑く

なる夏までに間に合うよう配慮されたい。



民生常任委員会

委員長 小野 幸男

◎議案第66号、第68号、第70号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例要望意見」

○所得制限を撤廃し、対象者を拡充することは評価する。引き続き、県や国に対し財源確保の要望をされたい。

「一般会計補正予算要望意見」

○長引くコロナ禍や物価高騰などの影響で、生活保護の相談などが増加している。生活保護は生活困窮者の大切なセーフティネットでもあるため、きめ細やかな対応をされたい。また、医療費扶助の増加の要因なども分析されたい。

○廃棄物処理施設整備基本構想の策定は、県が公開している「みやぎ地域循環資源エネルギー高度利用モデル作成事業調査報告書」なども参考にしながら取り組まれたい。
「介護保険事業特別会計補正予算要望意見」

○老老介護の世帯が増加しつつあることから、市独自の支援や地域包括支援センターなどと、より一層連携を強化し、介護をする方・される方へ寄り添った支援に努められたい。また、地域包括支援センターの役割は今後も重要となるため、契約の際は、働く側のインセンティブ向上なども検討されたい。



産業建設常任委員会

委員長 阿部 眞喜

◎議案第67号、第69号、第71号、第72号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○コロナ禍の長期化や物価高騰などで厳しい経営環境の水産加工業界は、各種支援制度に期待している。本市及び国の支援策も業界の方に寄り添った形で制度内容の周知に努め、速やかに申請・採択がされるよう支援されたい。

○マリングレード塩釜は、本市の海辺の玄関口でもあり、老朽化した施設の整備・修繕をし、塩竈らしさが感じられる施設を目指されたい。
○みなと広場・シオーモの小

径再整備事業は、単なるイベントスペースなどの活用だけでなく、宮沢賢治と本市との繋がりからストーリー性を付加し、新たな観光資源となる魅力ある事業とされたい。また、交通量の多い国道沿いであるため、安全対策や街路灯の設置のほか定期的な環境整備にも取り組まれたい。

○市営住宅管理代行業務委託、市営住宅等管理業務委託は、市営住宅の修繕を、宮城県住宅供給公社と修繕協定を締結した事業者が行っているが、一部の市内事業者が協定に参加である。宮城県住宅供給公社と市内事業者との協定の締結を促進し、協定の参加状況を議会へ報告されたい。

「北浜地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算要望意見」

○事業は完了となるが、今後、地盤沈下など不測の事態が生じた際は、適切に対策を講じられたい。

「水道事業会計補正予算要望意見」
○上下水道部庁舎の在り方は、市長部局で行われている新庁舎整備の検討と連動し、広く市民が活用でき集い憩える庁舎となるよう整備されたい。

討 論

12月21日の本会議において
討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

議案第62号、第63号

反対討論 議案第62号は昨年5月の個人情報保護法の改定に伴い、現行の「塩竈市個人情報保護条例」を廃止し、法律に基づく「塩竈市個人情報保護の保護に関する法律施行条例」を制定するものであり、条例の目的が企業利益のため

に個人情報の保護から利活用
に大きく転換された。

今回の法改定は、全国の地方公共団体で個別に定めていた条例を廃止し、全国共通ルールの統一を自治体に押し付けるもので、地方自治の侵害である。実際に総務省の資料では「条例でオンライン化や電子化を伴う個人情報の取り扱いを制限することは許容されない」などとされ、条例上で規定できるのは一部とされており、これまで自治体が積み上げてきた個人情報保護の取組を大きく後退させるもので認められない。

議案第63号であるが、現在

賛成討論 議案第62号は、個人情報保護制度について法律が改正され、全国的な共通ルールが規定されたことにより提案されたものである。

国が独立機関として設置する個人情報保護委員会は、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取り扱いの確保を図り、個人情報保護法及びマイナンバー法に基づき業務を行うことで、その安全性が担保される。匿名加工情報の利活用については、

新たなサービスやイノベーションの創出など国民生活全体の質の向上が期待され、匿名加工情報における個人情報の適切な加工については、法律で厳密に明記されている。

賛成討論 議案第63号についてであるが、定年引き上げは、

少子高齢化により生産年齢人口が減少することに伴い、高齢期の職員を最大限活用するため導入されるものである。60歳超の職員の給料月額を60歳前の7割とする水準は、国

が民間企業における高齢期雇

の60歳定年を65歳まで段階的に引き上げ、60歳を超えた職員の給料月額を60歳前の7割に削減するものである。定年引き上げには賛成だが、給与を7割にする削減については、人事院が行った令和4年度職種別民間給与実態調査における民間課長級及び非管理職77.4%という結果から民間に準拠というが、給与水準に整合性がない。働き方との関係や「同一労働同一賃金」の原則からも整合性がなく、「継続雇用」にも関わらず給与が7割に引き下げとなる。

以上のことから反対とする。

用の実情を調査し設定されたもので、7割措置は自分の間と位置付けられ、引き続き検討される。

地方公務員の給料などは、社会情勢に適応すべき「情勢適応の原則」及び国家公務員との公務としての近似性・類似性を重視した「均衡の原則」が適用され、条例案は、国及び他自治体の動向を踏まえた適正かつ極めて妥当なものである。

以上のことから賛成とする。

議員提出議案第5号

反対討論 本条例案は、個人情報保護法が利活用するための「匿名加工情報」「匿名加工情報」が定められているが、個人情報保護法を保護するための制限事項である「要配慮個人情報の収集制限」「オンライン結合による提供制限」は定められていない。また、議会は改訂個人情報保護法の適用対象ではないにも関わらず、個人情報保護法を企業に利活用させるため、個人情報保護の取組を後退させる改訂個人情報保護法を踏まえた条例案と考える。

反対討論 条例案を上程する過程については、パブリックコメントを実施し、広く市民の関心や意見を集めることが妥当と考えるが、その手続きが省略されている。令和5年2・3月定例会に上程予定の他市議会もあり、充分時間があることから丁寧に過程を踏むべきではないか。また、議会は合議制の住民代表機関であるが、条例案は本市議会議員の約半数のみで上程されており、十分な合意形成が図られていないため議会全体で熟議を重ね、理解を深めるべきである。

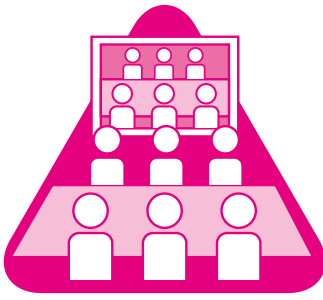
以上のことから反対である。

賛成討論 個人情報の保護に関する法律の改正は、独立制を確保する観点から地方公共団体の議会は適用対象外であり、議会で「匿名加工情報」及び「匿名加工情報」の作成は想定していないが、第三者から取得し保有する可能性などがあることから、本市議会でも適正な情報管理などを確保する必要がある。また、個人情報の保護を侵害する違法行為には、刑事罰という抑止力を条例に明記している。

賛成討論 条例案を上程する

過程において反対者はパブリックコメントを実施すべきとの考えだが、当局条例案では実施されない。また、パブリックコメントの意見提出期間が原則、案の公示日から起算して30日以上とされ、極めて厳しい日程である。当局条例の令和5年4月1日施行に間に合わず、食い違いを来した場合、その混乱の不利は市民が被るため、回避しなければならぬ。

以上のことから賛成とする。



市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月16日、19日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問項目も掲載しています。



無所属の会
西村勝男

北浜地区から第二小学校への避難道整備への

議員 北浜地区から第二小学校へ通じる歩道は、小学校への通学路、北浜保育園への通園路であり、災害時には北浜地区から避難所である第二小学校への避難路となっている。現在、この道路に面した空き地の擁壁が崩れそうになっており、令和4年6月からカラーコーンと黄色のテープで片側を通行止めとしている。

いわき市では災害時の危険防止のため「空き屋等緊急措置条例」を制定し、頻発する自然災害に対し危険を及ぼす可能性がある場合は最小限の措置を行うとしているが、本市の今後の対応策について伺う。

産業建設部長 歩道に面した民有地の擁壁が変形しているとの情報が町内会から寄せられており、擁壁が崩落した際の事故を未然に防ぐため、注

意喚起表示や歩道の一部通行規制をとるなどの安全対策を講じている。仮に崩落した場合は生活道路の機能維持の観点から、市が落下物を除去することに。今後も所有者に対し状況改善に向けた指導助言を継続し、パトロールを行いながら必要に応じて防護壁対策についても検討してまいりたい。



一部通行規制中の北浜保育園付近

高齢者あんしん見守り支援事業は

議員 高齢化傾向が続いており、2040年度には、その時点で65歳になる男性の約4割、女性の約7割が90歳まで生存すると言われている。

さらに、女性の2割は百歳まで生きると推計され、人生百年時代が迫っている。見守り支援事業は、一人暮らしの高齢者の不安を軽減し、安心して過ごしていただくために、安否確認や緊急事態の際の通報など、見守りサービスの利用料の助成を行うものである。見守り支援事業の利用状況を伺う。

福祉子ども未来部長 あんしん見守り事業の実績は、令和3年10月から令和4年11月まで32件となっている。一人暮らし世帯は令和4年3月時点で4375世帯である。あんしん見守り事業については、これまで広報しおがまでのお知らせや、市民への実態調査アンケートにお答えいただいた方で、例えば相談相手がいなかった方々にもお知らせをしているところである。今後は、ご本人のみならず、周囲の方々、不動産オーナーの皆様などにもお声掛けし、周知に力を入れていきたいと考えている。

その他質問項目
・デジタル化対応は
・町内会の運営組織の強化は
・事業者選定は

学校給食は



日本共産党
塩釜市議員
小高洋

議員 ①本市の学校給食の教育上の位置付けと、取組について伺う②保護者の年間学校給食費の負担額と、学校給食費の保護者負担軽減のための現在の取組について伺う③給食費無償化について、国や県に対する働きかけ、また、学校給食法第2条「学校給食は食育である」、憲法第26条「義務教育はこれを無償化とする」とうたわれていることを踏まえ、本市の給食費無償化の検討について伺う。

市長 ①学校給食法第1条の定義のとおり、教育上大変重要な位置づけと認識している。③無償化は、市長会でも意見しているが、財源確保において、今の段階で取り組める状況ではないと判断している。県に対しても、国に対しての強力な働きかけを、今後も継続してお願いしてまいりたい。

教育部長 ②小学生は年4万8300円、中学生は年5万2960円、5万5939円である。また、食材高騰などで、保護者負担が増えないよう補助金で対応をしている。

教育総務課長 ①地元食材を使い、ふるさと給食という地元の良いPRする取り組みを行っている。



学校の給食風景

新型コロナウイルス感染症拡大の現状と支援は

議員 ①本市における新型コロナウイルス感染症拡大の状況、年齢や傾向、この間の推移について伺う②感染した際はどのような行動をとればよい

のか伺う③発生届対象外の感染者についても支援物資、ホテル療養などの支援があるが、どう申請を行えばよいのか、また、申請から支援まで4日程度の時間を要することから、本市独自の物資支援を行うべきと考えるがいかがか。

新型コロナウイルス感染症対策専門監 ①各市町村の感染者数など公表されていないが、高止まり傾向で今後も油断できない状況と捉えている。

福祉子ども未来部長 ②県が設置したサポートセンターに登録し判断を仰ぐ。療養中は感染拡大防止のため、外出を自粛するのが基本となる。

③9月7日から県のコロナ対応が緩和され、生活支援物資の配送を休止している状況である。今後、極端な行動制限などになった場合には、再開を検討したいと考えている。

また、誰しも感染するリスクが高いということもあるので、家庭でも、生活用品などを常備していただく呼びかけなどを、行ってまいりたい。

その他質問項目
 ・利府中インター線整備は
 ・適格請求書等保存方式(インボイス制度)は

市政に対する一般質問



日本共産党
塩電市議員
辻畑めぐみ

難聴者などへの取組は

議員 軽度・中等度の身体障害者手帳を持たない難聴者に対する補聴器購入助成制度について、県内では富谷市が5月から実施しており、全国では、10月現在で110以上の自治体を実施をしている。難聴になると、人との会話や外出を控えるなど、認知症の要因になるともいわれている。昨年の12月定例会で助成制度を求め、市は検討したいとの答弁であった。改めて軽度・中等度の難聴者に対する補聴器購入助成制度を実施するよう求めるがいかがか。

福祉子ども未来部長 私どもも障がい者の担当、高齢福祉の担当と庁内でいろいろと協議を深めているところではあるが、現在のところ、高齢者などに対象を限定した助成制度の実施にはまだ至っていない状況である。軽度・中等度

の難聴者などへの助成事業を行っている自治体も増えてきており、65歳以上で1回限り2万円の補助をするなど、各自治体により、事業の対象や内容も様々であるため、今後も継続して、他自治体の補助制度の内容などを調査・研究し、検討を重ね対応を考えてまいりたい。

100円バスの運行は

議員 100円バスは市民の生活を守る上で不可欠な事業である。大日向・母子沢地域



NEWしおナビ100円バス

で、100円バスについてアンケート調査を行った結果、バス利用の目的は、通院、買い物、役所などが多く、受診や買い物などで、土曜日の運行を求める声も多く出された。また、近くの店がなくなり困っているとの意見もあり、改めて、全市的な調査を行い、市民の生活実態と要望を踏まえた100円バスの充実を求めるがいかがか。

総務部長 高齢化率の高い本市において、高齢者の皆様に欠かせない交通手段であると認識しており、今後も継続したいと考えているが、コロナ禍による利用者の減少や燃油高騰などの運行経費の増加により、市の財政負担が年々増加している状況でもある。事業継続には、運賃の見直しを含め、バス運行の在り方について検討を進めなければならぬと考えているが、まずは、利用者拡大のPRや経費抑制などから取り組み、路線については、許可が必要でもあり、今後アンケートなども行いどのような需要があるか検討してまいりたい。

その他質問項目
 ・ごみ問題は



創生会
伊藤博章

「第2期復興・創生期間」 以降の震災復興基本方針は

議員 令和3年度から令和7年度までの5年間を新たな復興期間とした「第2期復興・創生期間」において、①災害公営住宅の家賃低廉化・特別家賃低減事業は、管理開始後10年間継続とあるが、浦戸地区は、住居が不足していることから住民がいつまでも住み続けられる制度が必要ではないか。

②地方創生施策とALPS処理水の処分課題に関し、漁業は本市の重要な地域資源であることから温暖化による海洋環境の変化と酸性化について、海の状態を定点観測し、専門家による浅海漁業など水産業への影響を共有し、持続可能な水産業を実現する施策が必要ではないか。

市長 ②事業者支援、人口減少克服などを目的に地方創生戦略の策定など展開している。



学校の授業風景

学校教育は

まちづくり・建築課長 ①浦戸復興推進協議会から、入居要件のさらなる緩和の要望がある。災害公営住宅や市営住宅の在り方については、引き続き検討してまいりたい。

水産振興課長 ②ご指摘の通り海洋環境の変化について生産者からも話を伺っている。県にこの情報を伝え、協力しながら生産者と情報共有し、今後の対策について協議してまいりたい。

議員 文部科学省は、コロナ禍によって学校や家庭におけ

る生活や環境が大きく変化し、子供たちの行動などにも大きな影響を与えているという課題を踏まえ、教育相談体制の充実を推進し、不登校の未然防止と早期発見・早期対応の取組や家庭・地域社会などの理解を得て地域ぐるみでの取組を推進するとし、「不登校児童生徒への支援のあり方について（通知）」を令和元年に示した。すべての教職員が法や基本方針の理解を深めることが求められていることから、学校運営協議会など地域人材も含めて研修などを通じた取組が必要ではないか。また、学校における働き方改革、複雑化・困難化する教育課題へ対応するために各学校で自由に使える予算を配分するなど学校の裁量権限の拡大が必要ではないか。

教育長 コロナ禍の中で子供の環境が変わり、不登校率が増えてきている。相談体制をさらに充実させていかなければと考えている。研修については、県教委主催のものだけではなく本市独自の研修をやっていく。各学校の予算の権限については、どの形がふさわしいのか今後検討してまいりたい。



オール塩竈の会
阿部眞喜

塩竈市の今後の水産は

議員 本市を支える水産・水産加工業も新型コロナウイルスの影響で厳しい状況であると認識をしている。また、新型コロナウイルス前から続く加工原料の物価高騰や近年続く電気料金の値上がりなど大きな問題が山積している状況である。現在市として、捉えている水産・水産加工業の現状は。また、海業（うみぎょう）という取組がある。漁業、観光、飲食、加工関係、養殖関係と海に関わる事業の振興策のモデル事業を国が制定している。塩竈市の海に関わる事業を海業と捉え制定に進むべきと考えるが市としての考え方は。

市長 本市の水産・水産加工業の現状は、世界的な物価の高騰や円安の進行により、原材料の高騰や電気料金の値上がりなど大幅に生産コストが

増加しており、販売価格に転嫁することが困難であることから、大変厳しい状況である。

水産振興課長 海業については神奈川県三浦市で提唱され、官民連携による地域活性化が目的である。先日市長が三浦市を訪問して交流を深めたことから、今後、海業も含めて様々な連携促進を図りたい。

塩竈市の食を活かした まちづくりは

議員 本市には、とても魅力のある「食」が多数存在しているが、なぜ塩竈市に多くの魅力ある「食」が存在しているのかを今一度歴史から紐解き、更なる価値を高めると



しおがま汁

市政に対する一般質問



オール塩竈の会
今野恭一

交通インフラの整備は

議員 交通インフラの整備について伺う。国道45号線と八幡築港線の整備の進捗状況は。

市長 大変参考になるお話をいただいた。本市のマグロが近海マグロ日本一になるまでのストーリーや、かまぼこがなぜ盛んになり、日本一の生産量を誇ったのかなど、そういったことを集約して地域の方々にお伝えし、特に子供たちに対してこういった状況に至るまでの歴史を教えていくことはとても大切だと認識している。そこから食文化をどのように活かせるのかということは今後の教育だけではなく、商工とも連携し、市として責任を持って真剣に検討させていただきたい。

その他質問項目

- 塩竈市のDX化は
 - 市内事業者の応援は
 - 燃料費高騰対策は
- など

また、令和4年6月定例会での市長答弁では、港奥部を埋め立て、港町地区から北浜地区方面へと直進する新たな動線を整備することは、本市ベイエリアの魅力向上や利活用の促進に繋がるが、整備には県の港湾計画改定や、JR仙石線高架橋との交差による制限などの問題が挙げられていた。円滑な整備のため、まずは県道八幡築港線を北浜4丁目付近に接続し、その後、国道45号線を移動すれば渋滞の影響も少ないと考えるが市の見解は。

市長 6月定例会での答弁のとおり、継続して機会を捉えながら国・県に相談している。整備計画については、国・県それぞれ異なる視点・考え

があることから、複数の案を検討し提案することの重要性を多くの方からご指摘いただいた。まずは、そうしたことを確実に実施してまいりたい。また、国・県に伝わるよう発信し続けることが最も重要と捉えており、大切に議論を積み上げながら、進めてまいりたい。

商工・観光は

議員 鹽竈神社の氏子三祭の一つである塩竈みなど祭は、日本三大船祭りとして称賛され、今年も祝日である7月18日月曜日の海の日に催行され

たが、催行日程を1日前倒しして、塩竈みなど祭を日曜日を実施することで、神輿の担ぎ手は翌日の海の日を休養に充てることができる。

また、遠方からの観光客にとっては、夜の神輿の御還御まで見物し、翌日の海の日はゆったりとまちを散策したのち、翌日の仕事に備え、早めに帰宅することも可能となる。塩竈みなど祭は、市当局が深く関わって運営しており、そのような配慮を希望するが市の見解は。

市長 特別名勝松島にかかる建築規制などの法規制は、一昨年官邸に赴き交渉したが、まずは本市が宮城県と協議し、一つずつ課題を解決すべきではないかとアドバイスいただいた。その中で、本市ではまず、交流人口の拡大や、新たななりわいの創出などに取り組んでまいりたい。島内架橋については、島民の方々と話し合いを重ね、現実味のある対応をしてまいりたい。



オール塩竈の会
鎌田礼二

浦戸の現状と課題は

議員 震災以降、島内人口減少が大きいと認識しているが現状と年齢構成はどうか。

また、現在、島民以外の方が新たに移住することは出来ない。これを打破するには、①「特別名勝松島」などの法令を変える②架橋又はトンネル(宮戸・寒風沢間)設置ではないのか。見解を伺う。

市長 特別名勝松島にかかる建築規制などの法規制は、一昨年官邸に赴き交渉したが、まずは本市が宮城県と協議し、一つずつ課題を解決すべきではないかとアドバイスいただいた。その中で、本市ではまず、交流人口の拡大や、新たななりわいの創出などに取り組んでまいりたい。島内架橋については、島民の方々と話し合いを重ね、現実味のある対応をしてまいりたい。

その他質問項目

- 公園の維持管理は
- 市立病院の今後は



神輿渡御

総務部長 令和4年11月末現

在の浦戸の住民基本台帳人口は298人である。
 政策課長 年齢構成は、15歳未満が2人、15歳以上65歳未満が80人、65歳以上75歳未満が81人、75歳以上が135人である。



浦戸諸島

北朝鮮の核の脅威は

議員 今年は、北朝鮮のミサイル発射数が飛び抜けて多い。このミサイルが核爆弾の場合、核でなくても原子力発電所を狙われた場合は、核攻撃を受けた場合と同じである。今年、ロシアがウクライナへ侵攻しており、ロシアの東の隣国は

日本で、北方領土の次は北海道ではないか。また、台湾と中国の状況を考えると、中国が尖閣諸島・与那国島を占領し、台湾へ侵攻することも考えられる。

今後、市役所や市立病院の建設時に避難所や公共施設を兼ねた地下シェルターを作るべきでないか。そして地下だけではなく、役所裏の防空壕の活用を考えてはどうか。

また、爆心地以外で有効な核物質などの有害物質から身を守る「テント型のシェルター」購入に補助を行うなどの施策も良いのでは。市の見解は。

総務部長 核シェルターについて、現在国では必要な機能や課題などについて検討段階であるため明確な基準がなく、整備するにあたっての強度など掘り所がない状況である。今後については、国の動向を見据え検討してまいりたい。

テント型のシェルターなどの購入に係る補助金制度などについても貴重なご意見として参考とさせていただきます。

- その他質問項目
- ・ 来年度の予算編成の見直しは
 - ・ ふるさと納税は



公明党
小野 幸男

今後の子育て支援は

議員 少子化が進行する中、子供の幸せと、安心な子育てへの支援策強化が益々重要となっている。子供や若者世代

に対する未来への投資は人口減少を食い止めると同時に、社会保障の担い手を増やすことにつながることを認識しているが、本市の「妊娠期から出産子育てまでの切れ目のない支援」に取り組む基本的な考えについて伺う。

福祉子ども未来部長 妊娠の届出を基に、助産師・保健師が個別面談をし、これを皮切りに伴走型の相談支援を開始する。初回面談では、マタニティーマイプランを保健師と妊婦さんが一緒に確認し、出産までの見通しを立て妊娠から産後まで必要となるサービスについて、専門職員が寄り添い一緒に考えるという取

組をしている。その後妊娠中から産後、子育て期まで、専門職による家庭訪問を継続するとともに、両親学級、育児相談会なども開催し積極的な参加を促す。こういった取組の中で切れ目のない相談支援を行っている。また、居場所や仲間づくりの支援事業を毎月開催し、孤立防止に役立てよう努力してまいりたい。



子育て支援アプリ「しおがますくすくアプリ」

公共施設男性トイレへの サニタリーボックス設置は

議員 前立腺がん、膀胱がんの手術による術後の頻尿や尿漏れ、加齢により排尿のコントロールが難しくなることで

パットなどを使用する方が増えている。しかし、公共施設など男性トイレの個室には、サニタリーボックスの設置が進んでおらず、設置の推進が望まれている。市庁舎などの公共施設のトイレへ男性用サニタリーボックスの設置を、推し進めるべきと考えますが、本市の考えを伺う。

福祉子ども未来部長 高齢者のみならず、前立腺がん、膀胱がんのような疾病を持つ方、トランスジェンダーの方、そのような方々のために、全国の自治体で、男性用のサニタリーボックスを設置する動きが増えている。宮城県においても、県庁が8月から男性用トイレに設置したという事もあり、本市でも、こういう潜在的なニーズは存在していると考えている。誰でも安心して外出でき、さらに、災害時でも利用ができるように、他自治体などの事例を参考にしながら、検討してまいりたい。また、表示の仕方や素材、ボックスの大きさなども併せて検討してまいりたい。

- その他質問項目
- ・ 教育行政は

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 欠：欠席
 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

会議名 議案番号・件名	会派名・議員氏名				公明党	日本共産党 塩釜市議団	創生会	オール塩竈の会					かいしん	風の会	無所属の会	審議結果			
	浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	曾我ミヨ				伊勢由典	小高洋	辻畑めぐみ	伊藤博章	土見大介					香取嗣雄	阿部かほる	阿部眞喜
議案第52号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	○	修正可決
議案第62号	塩竈市個人情報の保護に関する法律施行条例	○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号	一般職の職員の給与に関する条例及び塩竈市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	×	○	原案可決
議案第65号	特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	×	○	原案可決
議案第66号	塩竈市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第67号	令和4年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号	令和4年度塩竈市交通事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第69号	令和4年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第70号	令和4年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第71号	令和4年度塩竈市北浜地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第72号	令和4年度塩竈市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第73号	塩竈市スポーツ施設の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	/	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第5号	塩竈市議会の個人情報の保護に関する条例	○	○	○	×	×	×	×	×	×	欠	/	○	○	○	○	×	○	原案可決

次回の定例会は
2月15日(水)
 午後1時開会予定

定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されています。
 本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は、市役所（本庁）四階の傍聴席へお気軽においでください。
 なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。
 詳しくは、議会事務局まで。
 （電話3551-6793）

表彰

令和4年度都道府県議会議員及び市区町村議会議員感謝状贈呈式において、次の議員が表彰されました。
 ◎総務大臣感謝状
 香取 嗣雄

議会報編集委員会
 委員長 志子田 吉晃
 副委員長 小高 洋
 委員 阿部 眞喜
 委員 小野 幸男
 委員 辻畑 めぐみ
 委員 土見 大介

2023年を迎えました。今年には十二支でうさぎ年ですが、甲・乙・丙・丁の十干を組み合わせた六十干支では、「癸卯（みずのとう）」にあたります。「癸（みずのとう）」は新たな成長、「卯（う）」はもともと動物のうさぎではなく草木が地面を覆うようになった状態という意味であるそうです。3年前からの新型コロナウイルス感染症の影響による活動の自粛、さらには昨年からはじめたウクライナ侵攻問題に端を発した物価高騰など苦難の年でありましたが、今年はいよいよ成長の年と振り払い、新しい成長の年としたいものです。
 塩竈市が抱える課題も様々なものがありますが、本会議や委員会などを通して、活発な議論を行い、どうすればより良い塩竈市となるかを念頭に活動してまいります。

編集後記